



身延清稜小だより



NO. 6

R1. 10. 3

校長 笠井安秀

<学校教育目標>

「進んで学び やさしい心を持ち 心身ともにたくましい児童の育成」

54人の 全力投球で 成功させた

第3回秋季大運動会

「54人の 全力投球で成功させよう 令和の大運動会」をスローガンに取り組んだ身延清稜小学校 第3回秋季大運動会が、大勢の皆さんに応援していただく中、54名の児童全員が力を合わせて精一杯がんばり、成功で終わることができました。

子どもたちは、多くの方々からたくさんの拍手と励ましの言葉をいただき、大きな自信を持つことができました。

取り組み期間も含め、保護者・地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。



新しい学校がつくっている伝統

運動会の数日前、「うんどう会 本ばんでは、こう学年みたいにがんばりたいです。」2年生のある児童が、運動会でがんばりたいことをこのように書いていました。

総練習の日の放課後、総練習で揃わなかった入場行進の練習を6年生が、はじめました。それを見た5年生が、すぐに校庭に出て一緒に練習を始めました。それを見た4年生も3年生も練習の輪に加わっていきました。その日の放課後は、予定されていた練習の時間ではないのに、多くの児童が、入場行進の練習をしていました。

高学年の児童が、がんばっている姿を低学年の児童が見て、カッコいいと思って真似をする。そんなつながりができていることにうれしくなりました。

これは、今年だけでつくられたのではなく、これまでの2年間の6年生を中心につくってきた身延清稜小学校の風土が、そんな児童の思いをつくったのだと思います。



今年の運動会は、雨の心配もなく穏やかな運動会日和の中で実施することができました。当日の朝の空と周りの山々と校庭を見たとき、子どもたちの頑張りを大勢の方々に見ただけでとほっとしました。

ほっとして校庭をよく見ると、校庭の入り口の道路を箒で掃いてくれている地域の方がいらっしゃいました。

今年も職員が駐車場の草を刈っていると、一緒に草を刈っていただいた方がいらっしゃいました。・・・・・・・・

子どもたちは大勢の方々に応援していただいています。ありがとうございます。

町長さんと語る会（児童生徒会）

毎年8月に町長さんと児童生徒の代表と語る会が開かれます。今年は、8月21日（水）に開かれました。本校からも児童会役員4名が参加しました。この会では、子どもたちから町への要望を伝える機会もあり、本校からは、「来年のオリンピックの年に向けて、英語で名所案内をつくるもいいと思います。」「図書館などの施設や町内を移動するのにバスの便が増えるとありがたいです。」などの意見を伝えることができました。

